



2023年12月12日

各位

会社名 株式会社シャノン
 代表者名 代表取締役社長 中村 健一郎
 (コード: 3976 東証グロース)
 問合せ先 取締役 経営管理担当 友清 学
 (TEL. 03-6743-1551)

繰延税金資産の取り崩し及び2023年10月期通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2023年9月11日に公表いたしました2023年10月期通期連結累計期間(2022年11月1日～2023年10月31日)の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、以下の通りお知らせいたします。

連結業績予想について

(1) 2023年10月期(2022年11月1日～2023年10月31日)の連結業績予想と実績の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,958	△205	△216	△376	△122.86
実績値(B)	2,934	△262	△273	△445	△145.68
増減額(B-A)	△23	△57	△57	△69	—
増減率(%)	△0.8%	—	—	—	—
(参考)前期実績(2022年10月期)	2,456	△327	△325	△365	△124.76

(2) 差異の理由

①売上高の差異について

売上高については、サブスクリプション事業、メタバース事業、広告事業については前回予想とほぼ同水準での着地となりましたが、イベントクラウド事業については納期ズレの影響もあり前回予想を下回る結果となりました。

その結果、前回予想の2,958百万円に対し2,934百万円(前年同期比19.5%増)となりました。

(単位:百万円)

	前回予想	実績	増減額	増減率
サブスクリプション事業	2,132	2,164	32	1.5%
サブスクリプション売上	1,410	1,399	△11	△0.7%
プロフェッショナル売上	722	764	42	5.8%
イベントクラウド事業	548	493	△55	△10.1%
メタバース事業	33	35	2	7.4%
広告事業	245	242	△3	△1.1%

②営業利益の差異について

(売上原価)

売上原価については、サブスクリプション事業におけるプロフェッショナル売上における大型案件に関して、予算策定時には想定していなかった仕入が発生したことにより増加しました。

その結果、前回予想の1,051百万円に対し57百万円増加し、1,108百万円（前年同期比28.3%増）となりました。

(販売費及び一般管理費)

販売費及び一般管理費については、概ね前回予想通りに推移し、2,088百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

以上の結果、営業利益は、前回予想よりも57百万円減少し、262百万円の営業損失（前年同期は営業損失327百万円）となりました。

③経常利益の差異について

経常利益については、営業利益の差異の影響により、前回予想の216百万円の経常損失に対して57百万円減少し、273百万円の経常損失（前年同期は経常損失325百万円）となりました。

④親会社株主に帰属する当期純利益の差異について

経常利益の減少と繰延税金資産の取り崩しに伴い法人税等調整額23百万円を計上したこと等により、前回予想の376百万円の親会社株主に帰属する当期純損失に対して、69百万円減少し、445百万円の親会社株主に帰属する当期純損失（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失365百万円）となりました。

3. 個別業績予想について

(1) 2023年10月期(2022年11月1日～2023年10月31日)の個別業績予想と実績の差異

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,784	百万円 △138	百万円 △139	円 銭 △45.59
実績値(B)	2,765	△426	△460	△150.51
増減額(B-A)	△18	△288	△320	—
増減率(%)	△0.7%	—	—	—
(参考)前期実績 (2022年10月期)	2,382	△232	△292	△99.64

(2) 差異の理由

①売上高の差異について

今回の修正としましては、基本的には、連結業績予想の修正と同様の理由により予想値を下回ることとなりました。

②経常利益の差異について

連結業績予想の修正理由に加えて、個別業績特有の要因として、関係会社株式(株式会社ジクウ)の評価損8百万円、同社に対する債権について貸倒引当金238百万円を計上したこと等により、前回予想の138百万円の経常損失に対して、288百万円減少し、426百万円の経常損失となりました。

③当期純利益の差異について

経常利益の減少と繰延税金資産の取り崩しに伴い法人税等調整額 23 百万円を計上したこと等により、前回予想の 139 百万円の当期純損失に対して、320 百万円減少し、460 百万円の当期純損失（前年同期は当期純損失 292 百万円）となりました。

以 上